

生徒の声

「たくさんの友だちと

学校行事や部活動に

取り組みたい」

花輪第二中学校(二年生)

豊田 煌平さん

児玉 頼さん

児玉さん(左)と豊田さん(右)



花輪第二中学校での思い出

校外学習で盛岡に行つて、

宮沢賢治について調べたことや、総合的な学習の時間「創郷」という授業で特産品のりんごやブルーベリー、桃などを地域の皆さんの協力のもと、加工して販売できたことです。

特に、デザートを販売した時には会計をするのが難しい出

かったです。でも、また機会があったらやってみたいと思います。

アルミ缶・プルタブ回収では、回収したアルミ缶とプルタブを換金したお金で車いすを購入し、社会福祉協議会に寄贈しました。

あとは、なんととってもクラス全員が明るい性格で、毎日笑いが絶えない学校生活が最高の思い出です。

花輪中学校で楽しみなこと

今よりも人数が多くなることで、学校行事も今まで以上に盛り上がると思います。さらに多くの友だちと楽しみたいです。部活動では、今まで以上に練習中の掛け声が大きくなったり、切磋琢磨できるライバルができたりするなど、充実した活動になることを期待しています。

生徒の声

「学校祭と部活動を

一緒に楽しみたい」

花輪第一中学校(二年生)

吉田 洋士さん

斉藤 悠さん

斉藤さん(左)と吉田さん(右)



花輪第一中学校の行事

合唱コンクールと一中祭は一年のなかでも特に大きな行事です。クラス全員で歌の練習をしたり、一中祭の出し物を考えたりすることがとても楽しいです。

また、体育祭でもクラス対抗リレーや行進、長縄跳びなど、クラスで一致団結して行う行事があります。クラスみんなで一つの目標に向かって

頑張ったことで、さらに絆が深まりました。

花輪第二中学校のみんなに一言

部活動と一緒に頑張りたいです。特に総体(総合体育大会)では、花輪中学校になつてから第一回目の出場となるので、この大会で良い成績を残してみんなでその喜びを分

かち合いたいです。

そして、花輪第二中学校には無かった部活動があります。また、人数が少なかった部も、人数が増えることで、さらに活動の幅が広がり、高い目標に向かうことができると思います。ぜひ興味がある部にどんどん入ってほしいです。

統合に向けた取り組み

花輪第一中学校と花輪第二中学校では、これまで統合に向けた準備を進めており、万全の態勢で「花輪中学校」としてスタートできるように取り組んでいます。

校歌・校章の継承

校歌・校章は花輪第一中学校のものを継承します。

制服・体操着の統一

制服や体操着は、統合時に揃うよう、昨年度の入学生(現在の中学二年生)から新しいものに変更しています。

男子の学生服は従来と変わりませんが、女子のセーラー服は首元をネクタイからリボンに変更しています。

合同で行う授業や活動を展開

統合に向けて、生徒の輪を広げるため、花輪第二中学校の生徒が花輪第一中学校で授業や給食を共にする日を設け、二年生が延べ4日間、一年生が延べ6日間にわたる日程を合同で過ごしました。



合同体育の様子

その中の体育の授業では、花輪第二中学校で取り組んでいるヒップホップダンスをみんなで練習しました。

また、授業以外では、一昨年から花輪第一中学校が毎年参加している花輪ばやし「子供パレード」に花輪第二中学校の生徒も参加しています。

部活動

部活動は在学中の生徒に対して今月中に入部希望調査を行い、来年度の活動につなげるほか、一部の部活動については、昨年の秋季総体前から合同練習を行っているところもあり、部活動がスムーズに行われるよう準備をしています。

学校規模の適正化により、教育環境の充実を図ります

近年、少子化に伴う児童生徒数の減少により、全国の学校では*複式学級の増加など、小規模化が進んでいます。集団の規模が小さくなると、きめ細かな指導が行いやすく、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすといった利点がありますが、一方で集団教育の良さが生かされにくくなることにも、教職員配置数の減少など、適正な学校運営や児童生徒への指導が難しくなります。

合いを大切にしながら、グループ学習や部活動、運動会などの学校行事で切磋琢磨する機会を作り出し、確かな学力と、社会の中でたくましく生き抜く力を身に付けた子どもたちを育てていきます。

*複式学級：2つ以上の学年をまとめた学級

☎ 総務学事課 総務班
30・0290

花輪第二中学校 閉校式

日時 3月19日(木) 11時~
場所 花輪第二中学校 体育館

※参加自由、申込不要

☎ 総務学事課 総務班
30・0290